
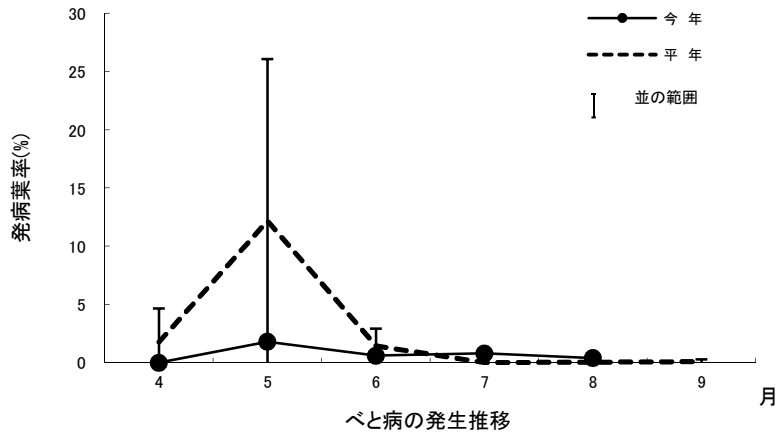



作物	へちま	地域	沖縄群島
病害虫名	① ベと病		
8月の発生量（現況）	並		
9月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、8月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

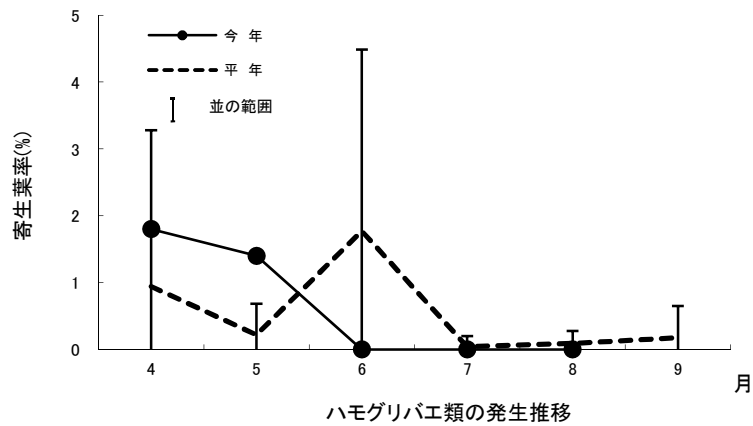


防除のポイント

- ・ 気温が10～25℃で多湿条件下で発生しやすい。
- ・ 老化した葉を除去し、採光・通風を良くする。
- ・ 適正な施肥管理を行う。


作物	へちま	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハモグリバエ類		
8月の発生量(現況)	(発生なし)並		
9月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、8月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

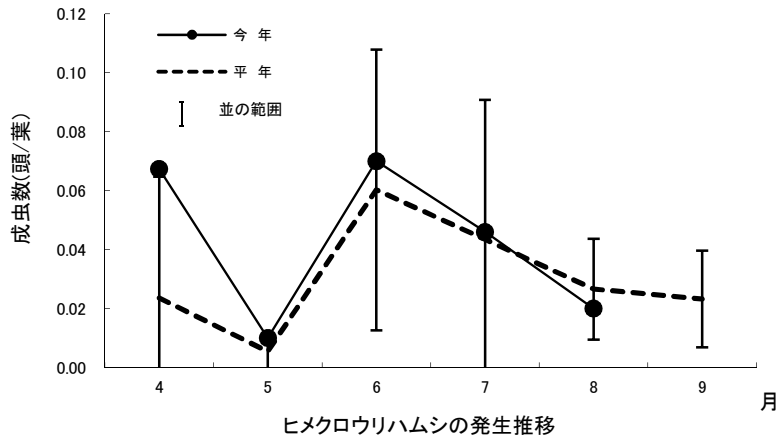


防除のポイント

- ・ 本種の寄生痕から病害が侵入する可能性があるため、発生初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場周辺の雑草は本種の発生源になるので除去する。

作物	へちま	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ヒメクロウリハムシ		
8月の発生量(現況)	並		
9月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	成虫数の平年の発生推移から、8月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)




防除のポイント

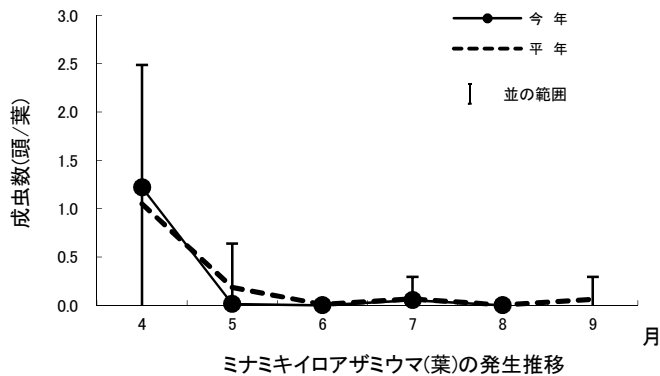
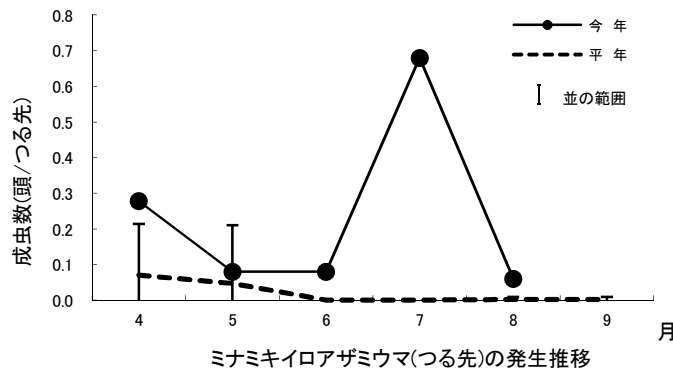
- ・ シルバーテープなど光反射資材を利用し、成虫の飛来防止に努める。
- ・ ほ場内外のウリ科雑草は発生源になることから、根も含めて除去する。
- ・ 産卵防止のため、地際部をシートなどで覆う。
- ・ 動きの鈍い午前中に成虫を捕殺する。



本種による食害

作物	へちま	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミナミキイロアザミウマ		
8月の発生量(現況)	多		
9月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	つる先及び葉の成虫数の平年の発生推移から、8月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



・一部ほ場で多発した。

防除のポイント

- ・ つる先及び葉裏に多いことに留意しながら、丁寧に薬剤散布する。
- ・ 多くの雑草に寄生するため、ほ場内外の雑草除去に努める。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。